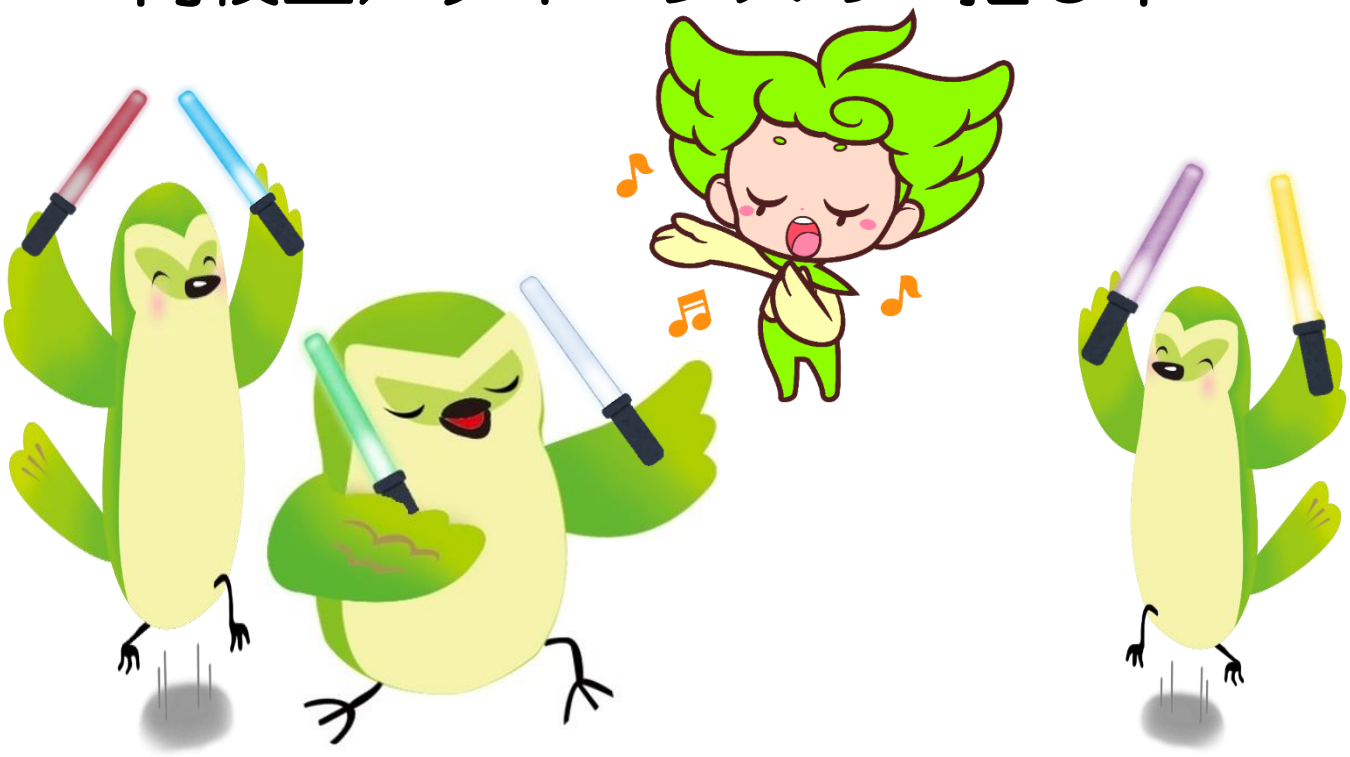
令和３年度　福岡県立図書館　読書週間・ふくおか教育月間特別企画

# 高校生／ティーンズの“推し本”



７月１日～８月３１日の間、県内の高校生／ティーンズの皆さんのおすすめ本“推し本”を募集したところ、たくさんの応募がありました。
ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

昨年に引き続き推された本もあれば、今回新たに推された本もあり、多様なジャンルの“推し本”が集まりました。

また、９月～１０月にかけては、福岡県を拠点とするプロスポーツチームで活躍する選手やコーチ、監督の方から、青少年の皆さんへおすすめの本を紹介してもらいました。

色々な人の紹介文や推しコメントを見れば、あなたの読みたい本もきっと見つかります！

令和３年１０月２７日
福岡県立図書館

～凡例～

推された
図書の画像です

『世界の猫はざっくり何匹?』　ロブ・イースタウェイ／著，
水谷 淳／訳　ダイヤモンド社

『書名』　著者・編者・訳者　出版者　を記しています。
同名の著書が複数あった場合は、福岡県立図書館が
所蔵し、かつ、貸出ができるものを記載しています。

なお、こちらをクリックすると、現在の貸出状況等を確認でき、
パーソナルサービスより予約をすることもできます

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　表紙のイラストとタイトルに惹かれて読んだ１冊です。
　タイトルにもあるように、“ざっくり”とおおざっぱな数値を導くための計算のテクニックを知ることができます。
　世の中に溢れる様々な数値の中には、正確でなくともおおざっぱに考えればいいケースもあると気付かされ、数学がちょっと身近に感じられます。
　（投稿：りばぁらいんさん）

おすすめコメントや投稿者のペンネームを記しています。
なお、明らかな誤字脱字は修正していますが、
原則として投稿されたままの文章を掲載しています。

# 目次

表紙……1

凡例……2

目次……3

～推し本紹介～……6

あ行

『アニマルアイズ　2(巻書名：死を食べる)』　宮崎 学／著　偕成社……6

『1Q84』　村上 春樹／著　新潮社……7

『1日10分のごほうび』　赤川 次郎、他／著　双葉社……8

『It』　スティーヴン・キング／著，小尾 芙佐／訳　文芸春秋……8

『ヴィッキー・エンジェル』
ジャクリーン・ウィルソン／作，ニック・シャラット／画，尾高 薫／訳　理論社……9

『エイジ』　重松 清／著　朝日新聞社……9

『王様ゲーム　起源』　金沢 伸明／著　双葉社……10

『おーいでてこーい』　星 新一／作，中島 梨絵／絵　三起商行……11

『掟上今日子の推薦文』　西尾 維新／著　講談社……12

『おとめ六法』　上谷 さくら／著，岸本 学／著，Caho／イラスト　KADOKAWA……13

『オルタネート』　加藤 シゲアキ／著　新潮社……13

か行

『海賊とよばれた男』　百田 尚樹／著　講談社……14

『か「」く「」し「」ご「」と「』　住野 よる／著　新潮社……14

『カラフル』　森 絵都／著　講談社……15

『借りぐらしのアリエッティ』　メアリー・ノートン／原作，
宮崎 駿／企画・脚本，丹羽 圭子／脚本，米林 宏昌／監督　徳間書店……16

『キノの旅』　時雨沢 恵一／[著]　KADOKAWA……17

『君の膵臓をたべたい』　住野 よる／著　双葉社……18

『告白』　湊 かなえ／著　双葉社……19

『5秒後に意外な結末』　桃戸 ハル／編著，usi／絵　学研プラス……20

さ行

『さくら』　西 加奈子／著　小学館……21

『さよなら妖精』　米沢 穂信／著　東京創元社……22

『鹿の王』　上橋 菜穂子／著　KADOKAWA……22

『少年たちは花火を横から見たかった』　岩井 俊二／[著]　KADOKAWA……23
『消滅世界』　村田 沙耶香／著　河出書房新社……24
『スマホを落としただけなのに』　志駕 晃／著　宝島社……25
『ソードアート・オンライン』
川原 礫／[著]　アスキー・メディアワークス，角川グループパブリッシング(発売)……26
『そして誰もいなくなった』　アガサ・クリスティー／著，清水 俊二／訳　早川書房……27

た行

『チョコレートコスモス』　恩田 陸／著　毎日新聞社……27
『デーミアン』　ヘッセ／著，酒寄 進一／訳　光文社……28
『デモナータ』　Darren Shan／作，橋本 恵／訳，田口 智子／絵　小学館……29
『どうして高校生が数学を学ばなければならないの?』　大竹 真一／編　大阪大学出版会……30
『「毒」と「薬」の不思議な関係』　齋藤 勝裕／著　シーアンドアール研究所……30

な行

『七つの魔剣が支配する』　宇野 朴人／[著]　KADOKAWA……31
『2 分間ミステリ』　ドナルド・J.ソボル／著，武藤 崇恵／訳　早川書房……32
『日本の給料&職業図鑑』　給料 BANK／著　宝島社……33
『人魚の眠る家』　東野 圭吾／著　幻冬舎……34

は行

『博多豚骨ラーメンズ　4』　木崎 ちあき／[著]　KADOKAWA……35
『化物語』　西尾 維新／著　講談社……36
『はだしのゲン』　中沢 啓治／著　ほるぷ出版……37
『ハリー・ポッター』シリーズ　J.K.ローリング／作，松岡 佑子／訳　静山社……38
『羊と鋼の森』　宮下 奈都／著　文藝春秋……39
『プシュケの涙』　柴村 仁／[著]　講談社……39
『ぼくが電話をかけている場所』
レイモンド・カーヴァー／[著]，村上 春樹／訳　中央公論社……40
『星の王子さま』　サン=テグジュペリ／作，内藤 濯／訳　岩波書店……41

ま行

『魔女の宅急便』　角野 栄子／作，林 明子／画　福音館書店……42
『マスカレード・ホテル』　東野 圭吾／著　集英社……43
『三日間の幸福』　三秋 縋／[著]　KADOKAWA……44
『ムゲンの i』　知念 実希人／著　双葉社……44
『夢幻花』　東野 圭吾／著　PHP 研究所……45
『紫の結び』　[紫式部／著]，荻原 規子／訳　理論社……45
『メインテーマは殺人』　山田 蘭／訳，アンソニー・ホロヴィッツ／著　東京創元社……46

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』
神田 桂一／著，菊池 良／著　宝島社 ..... 47

や行
『優しい死神の飼い方』　知念 実希人／著　光文社 ..... 48
『やさしい日本絵画』
山下 裕二／監修，マキゾウ／マンガ，朝日新聞出版／編著　東京　朝日新聞出版 ..... 48
『妖怪アパートの幽雅な日常』　香月 日輪／[著]　講談社 ..... 49

ら行
『落日の剣』
山本 史郎／訳，ローズマリ・サトクリフ／著，山本 泰子／訳　　原書房 ..... 50
『羅生門』　芥川 龍之介／作　岩波書店 ..... 51
『螺鈿迷宮』　海堂 尊／著　角川書店 ..... 51
『流浪の月』　凪良 ゆう／著　東京創元社 ..... 52
『レゾンデートル』　知念 実希人／著　実業之日本社 ..... 53
『レモンタルト』　長野 まゆみ／著　講談社 ..... 54

わ行
『私は私のままで生きることにした』
吉川 南／訳，キム スヒョン／著　ワニブックス ..... 55
『ワンダー』　R.J.パラシオ／作，中井 はるの／訳　ほるぷ出版 ..... 55

未所蔵の本
『桜のような僕の恋人』　宇山 佳佑／著　集英社 ..... 56
『サラとソロモン』　エスター・ヒックス／著，
ジェリー・ヒックス／著，加藤 三代子／訳　ナチュラルスピリット ..... 56
『ヒトラー語録』
ヒトラー／[著]，アイバンホー・ブレダウ／編，小松 光昭／訳　原書房 ..... 56
『モニタールーム』 山田 悠介／著 角川書店，角川グループパブリッシング(発売) ..... 57

奥付 ..... 58

## ～推し本紹介～

『アニマルアイズ　2(巻書名：死を食べる)』　宮崎 学／著　偕成社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　この本は題名の通り、生き物の死骸を、他の生物が食べるシーンのみで特集されている本です。
　残酷な場面が多く、苦手な人は注意が必要ですが、自然の尊さや命の儚さを感じることのできる本です。
　ぜひ手に取ってみてください。
（投稿：Yuuki さん）

報道写真家の宮崎 学さんが
撮影した写真を通して
地球環境を見つめ直す
『アニマルアイズ』シリーズ。
福岡県立図書館では、
全５巻を所蔵しています！

『アニマルアイズ　1(巻書名：ごちそう砦)』
『アニマルアイズ　2(巻書名：死を食べる)』
『アニマルアイズ　3(巻書名：明るい夜)』
『アニマルアイズ　4(巻書名：あったかねぐら)』
『アニマルアイズ　5(巻書名：においの地図)』

『1Q84　BOOK1』　村上 春樹／著　新潮社
『1Q84　BOOK2』　村上 春樹／著　新潮社
『1Q84　BOOK3』　村上 春樹／著　新潮社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　昨年度の推し本投稿が締め切られて２、３日経った頃に読み終えてしまい、ものすごくショックだったのを覚えています。
　学校の教頭先生に、題名をIQ84(アイキュウ84)と勘違いされるなど、思い出いっぱいな本です。
　長編ということもあって(私が読んだものは)三冊にまたがっていましたが、二冊目、三冊目となるにつれ、だんだん本がきれいになっていくあたり(ここまで読んでいる人って少ないのかしら)と、謎の嬉しさがこみ上げてきました。
　二つ(途中からは三つ)の目線から描写されていき、そして繋がっていくのは、前半は面白さを。後半はもどかしさを感じさせます。
　（投稿：うさぎ追いし かの山さん）

福岡県立図書館キャラクターの
ふっきょん です。
Twitter もやっていますので、
フォローお願いします！

『1 日 10 分のごほうび』　赤川 次郎、他／著　双葉社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　たくさんの作家さんの作品を 1 冊で読める本です。
　みんなが知っているような作家から初めて聞いた作家など、自分のお気に入りの作家に出会えるかもしれません。
　（投稿：Y．Kさん）

（古い資料のため、カバーがありません）

『It　上』　スティーヴン・キング／著，小尾 芙佐／訳　文芸春秋
『It　下』　スティーヴン・キング／著，小尾 芙佐／訳　文芸春秋

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　ホラー小説だが、友情の美しさが描かれているところがオススメ！
　（投稿：Y．S さん）

『ヴィッキー・エンジェル』
ジャクリーン・ウィルソン／作，ニック・シャラット／画，尾高 薫／訳　理論社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
本当の友情を見つけて自信をつけていく主人公に感情移入してしまい、サクサク読めてしまいます。
最後には感動のラストが待っています。
（投稿：Rさん）

『エイジ』　重松 清／著　朝日新聞社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
中学生の主人公エイジが人間関係に悩まされながら成長していく姿に引き込まれます。
読み終えた後に自分も成長させてくれる一冊です。
（投稿：井上元太さん）

『王様ゲーム　起源』　金沢 伸明／著　双葉社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　王様の命令は絶対！というテーマで書かれたダークなストーリーで、仲間同士で殺し合うというバトルロワイヤル的なおぞましさがとても面白くて大好きな作品です。
　王様ゲームは、夏の怪談としてお勧めします！
　シリーズになっているので面白いと思った方は、全シリーズ（１２）読んでみてはいかがでしょうか。
　（投稿：H.O さん）

“ケータイ小説”から
書籍化された
『王様ゲーム』シリーズ！
福岡県立図書館では、
３冊のみ所蔵しています。

『王様ゲーム　起源』
『王様ゲーム　再生 9.19』
『王様ゲーム　煉獄 11.04』

『おーいでてこーい』　星 新一／作，中島 梨絵／絵　三起商行

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
ショートショートの神様、星新一先生による短編小説集です。
タイトルを飾っている「おーいでてこーい」は私のお勧めのお話です。
SF チックに見えて、人類の近い未来を暗示しているような、ダークな魅力のある回ですよ。
ぜひ読んでみてください！
（投稿：ミストラル村上さん）

※「おーいでてこーい」は、以下の作品集等にも収録されています。
『日本文学 100 年の名作　第５巻　池内 紀、他／編　新潮社』
『中学生までに読んでおきたい日本文学　10　松田 哲夫／編　あすなろ書房』

ふくおか教育月間の
イメージキャラクター
ミライル です！
東京 2020
オリンピック・パラリンピック
公式マスコットを制作した
谷口 亮さんのデザインです。

『掟上今日子の推薦文』　西尾 維新／著　講談社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　１度寝たら記憶がリセットする忘却探偵「掟上今日子」が美術品を巡る事件を解決する話。
　（投稿：（ ＾ω＾ ）さん）

新垣 結衣さん主演でドラマ化もされた『忘却探偵』シリーズ！
福岡県立図書館では、
全１３巻を所蔵しています！

1『掟上今日子の備忘録』
2『掟上今日子の推薦文』
3『掟上今日子の挑戦状』
4『掟上今日子の遺言書』
5『掟上今日子の退職願』
6『掟上今日子の婚姻届』
7『掟上今日子の家計簿』
8『掟上今日子の旅行記』
9『掟上今日子の裏表紙』
10『掟上今日子の色見本』
11『掟上今日子の乗車券』
12『掟上今日子の設計図』
13『掟上今日子の鑑札票』

『おとめ六法』　上谷 さくら／著，岸本 学／著，Caho／イラスト
　KADOKAWA

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　「恋人がいる状態で浮気した。恋人から慰謝料を請求される？」「盗撮されていた。どうすればいい？」などなど女の子が抱える悩みから、暮らし、結婚まで解説を加えて分かりやすく説明しています。
　可愛いイラストも含め最後まで楽しめます。
　（投稿：あめだまさん）

『オルタネート』　加藤 シゲアキ／著　新潮社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　メンデルの法則という遺伝の話から現実的な話へと物語が発展していきます。
　物語の移り変わりが味わえ、読み手を引き付ける作品となっています。
　（投稿：ハタさん）

『海賊とよばれた男　上』　百田 尚樹／著　講談社
『海賊とよばれた男　下』　百田 尚樹／著　講談社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　出光興産創業者の出光佐三をモデルにした主人公、国岡鐵造の一生と国岡商店が大企業にまで成長する過程が描かれてあって、またこの大企業になるまでの過程が奥深くてとてもいいです。
　（投稿：Kotaru さん）

『か「」く「」し「」ご「」と「』　住野 よる／著　新潮社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　心が読める少年少女たちが恋愛を中心に悩み葛藤する姿に心打たれました。
　物語全体の伏線の回収がおもしろかったです。
　（投稿：S．Mさん）

『カラフル』　森 絵都／著　講談社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

死んだはずだった僕は、人生を再挑戦できるチャンスを与えられ、プラプラというガイドの天使と一緒に下界に降りるところから物語がはじまります。

僕は、また人生を再挑戦できる代わりに、自殺をはかって亡くなった、お絵描きが大好きな中学生の真に乗り移ることになります。

そして、真の中にいる僕が、プラプラと一緒にいろいろな出来事に挑戦していき、徐々に僕は、真が、何故自殺をすることになったのかを知っていきます。

また、ある日に僕は衝撃的な事実を知ることになります。

カラフルという本は作品名の通り、色が関連していきます。

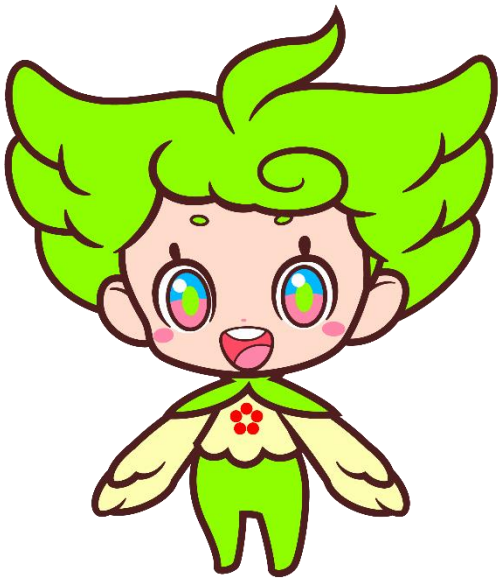
自分はカラフルを読んでみて、一生戻ってくることがない過去の人生の色は変えられないけど、唯一、人生の色合いを変えられるのは、未来しかないのだと、思いました。

たった一度きりしかない人生の感じ方は、この本を読んでみると変わってくるかもしれません。

最後まで読んでみてやっと真相がわかる 読者に勇気を与えてくれる素敵な一冊です。

是非、一度手にとってみてください。

（投稿：ばっさーさん）



『借りぐらしのアリエッティ』　メアリー・ノートン／原作，
宮崎 駿／企画・脚本，丹羽 圭子／脚本，米林 宏昌／監督　徳間書店

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　小さな小人が人間に見つからないように物を借りながら生きていく話です。
　小人の視点の世界が一つ一つしっかり書かれているので、とても楽しめて興味がわく本です。
　（投稿：ななさん）

※『借りぐらしのアリエッティ』については、アニメ絵本そのものの所蔵はありませんが、上記に掲載の文春ジブリ文庫を所蔵しています。

ジブリ作品の画像は、
スタジオジブリのＨＰ
(https://www.ghibli.jp/)
の「画像提供」より、
「常識の範囲で」
使うことができます！

『キノの旅』　時雨沢 恵一／[著]　KADOKAWA

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
『キノの旅』は旅人のキノと話す二輪車のエルメスが世界を旅する物語です。
この本の魅力は大きく分けて、二つあります。
一つ目は訪れる国ごとに物語が分けられていて読みやすい短編集となっていること、二つ目は登場するユニークな国々です。
バラエティ豊かできっと飽きないです。
ぜひ読んでください。
（投稿：ラノベ好きさん）

昨年、刊行 20 周年を迎えた
人気シリーズ！
福岡県立図書館では、
全 23 巻までを所蔵しています！

『キノの旅』　『キノの旅　2』　『キノの旅　3』　『キノの旅　4』
『キノの旅　5』　『キノの旅　6』　『キノの旅　7』　『キノの旅　8』
『キノの旅　9』　『キノの旅　10』　『キノの旅　11』　『キノの旅　12』
『キノの旅　13』　『キノの旅　14』　『キノの旅　15』　『キノの旅　16』
『キノの旅　17』　『キノの旅　18』　『キノの旅　19』　『キノの旅　20』
『キノの旅　21』　『キノの旅　22』　『キノの旅　23』

『君の膵臓をたべたい』　住野 よる／著　双葉社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
話の終盤で主人公が泣くシーンがとても印象的で心打たれます。
ぜひ読んでみてください。
（投稿：椛島さん）

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
君の膵臓をたべたいは、映画も公開されていてとても有名な作品です。
私は、表紙に一目惚れしてこの本を読みました。
この話は、男の子の目線で書かれています。主人公の女の子と男の子の性格が真反対だからこそ面白い所があったり、お互い学ぶことがあります。
私は本を読んでいて主人公の２人から学ぶことが沢山ありました。
この本のおすすめポイントは、「読者の期待を裏切る」と言うところです。
女の子は持病があり１年以内に亡くなってしまうけど、女の子が亡くなった本当の理由は持病ではありません。私は、その場面を読んだ時とても驚きました。
そして、人間はいつ死んでもおかしくない、生きていることが奇跡だと思いました。この本は、「生きていることが奇跡」だと教えてくれたのです。
また、主人公の女の子が病気を知ってから書いている「共病文庫」の内容も感動しました。
私は共病文庫を読むまで、女の子は明るくて元気な性格だと思っていました。
しかし彼女はずっと明るくはなかったのです。
私は共病文庫を読んで、いつも明るい人でも時には悲しくなることがあると思いました。そして、本を読んだ後、本のタイトルに感動しました。
この本を読んで初めて知ることが多かったし、自分を成長出来たと思います。
人間関係で悩んでいる人や病気を抱えている人に是非読んで欲しいです。
読後、今までの見方や考え方が変わると思います。
「君の膵臓をたべたい」を読んで良かったです。
（投稿：NY さん）

『告白』　湊 かなえ／著　双葉社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

私が本を好きになったきっかけの本だったのでいろんな人に読んでもらいたいと思っておすすめしました。

初めて読んだ時の衝撃がすごくて何度読んでもおもしろいと思えたので、本が苦手な人でも楽しんでもらえる作品だと思います。

様々な登場人物からの視点で物語が進んでいくので、読めば読むほど物語の謎が深まって続きが気になると思います。

グロい描写が苦手な方はあまり読むのをおすすめしませんが、耐性がある方には是非読んで欲しいです。

物語の登場人物と同じように、読んでいる自分までハラハラして追い込まれていくと思います。

最後の１行までどんでん返しが続き、結末がわかりません。

ほんとうにおもしろい作品なので是非読んでもらいたいです。

（投稿：K さん）

“イヤミスの女王”とも呼ばれる
湊 かなえさんの作品が
今年も推されました！
デビュー作でもある本作は、
2009 年に第６回本屋大賞も
受賞しています！

『5 秒後に意外な結末』　桃戸 ハル／編著，usi／絵　学研プラス

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
短めの物語がいくつかにまとめられてあり、本を読むのが苦手でも読めます！！
（投稿：Mさん）

今回の“推し本”には
６９件の応募があり、
67 作品が推されました！
高校生／ティーンズの皆さん、
ご協力ありがとうございました！

福岡県立図書館ＨＰの
青少年コーナーのページには、
ＹＡ(ヤングアダルト)サービスを
行っている図書館のリンク集や、
“学び”にかかる資金を支援する
ためのサイトをまとめた
進路や就職に役立つリンク集など
皆さんのための情報があります！

『さくら』　西 加奈子／著　小学館

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　私はこの本を読み始めたきっかけは、中学生の時朝読書の時間に学校に自分で本を持っていかないといけなくて何を読もうか選んでいました。
　本屋さんで本を選んでいる時この本が実写化されるというポップが大きく書いてあり、その実写映画に吉沢亮さんが出演すると書いてあり買ってみました。
　私は最初『さくら』という題名だったため春にまつわる明るい本なのかと思っていました。
　ですが予想と違い、明るい本ではありませんでした。
　私が印象に残っているのは、長男の一が思いを寄せていた矢島さんに末っ子の美貴がイタズラ？のような事をし兄と矢島さんが結ばれないようにしていたところが、切なくて悲しいなと思いました。
　この本を読んで、生きていれば想像もつかない辛いことが起こるかもしれないがそれでも、家族にはたくさんの幸せな思い出も残っており、それがある限り、生きていくということを知れました。　ぜひこの本を沢山の方に読んで欲しいです！
（投稿：Saku さん）

『さよなら妖精』　米沢 穂信／著　東京創元社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
読後感を最高に楽しめる一冊です。
（投稿：M.H さん）

『鹿の王　上』　上橋 菜穂子／著　KADOKAWA
『鹿の王　下』　上橋 菜穂子／著　KADOKAWA

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
この本が好きな理由は、登場人物全員の言動に心ひかれたからです。
とてもおもしろく最後までわくわくする本なので、ぜひ読んでみてください！
（投稿：U・Yさん）

『少年たちは花火を横から見たかった』　岩井 俊二／[著]　KADOKAWA

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

本を読むのが苦手な私にとって、とても短編で読みやすそうな本だと思い読み始めた本でした。

けれど読んでいくうちに自分とは違った感じ方や想像をしていることが書かれているにも関わらず共感できるところもあり、最後までわくわくしながら読むことができました。

この本の内容がおもしろいのももちろんですが、最後の方にある作者がこの本を書くにあたってのエピソードの部分もまたこの本に理由心惹かれる一つです。

この本をもとにした映画についても作者の思い、エピソードなど書かれているので映画を見ていない私でも映画だけ見たことある人にも楽しめる本だと思いました。

（投稿：H.F さん）

『消滅世界』　村田 沙耶香／著　河出書房新社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

誰かに薦められたわけでもなく読んだ本のなかで、ここまで『これだ!!』と、思った本はない。

この本に限らないが、彼女の近未来的(本人が住んでいた影響だと思うが)ニュータウンのような、独特の世界観が好き。

それが別のところにあるの(いわゆる異世界だったり、脳内思考だったり)ではなく、ちょっと隔離されたところにあるというか、普通のすぐ真横に存在しているあたりがまた、面白い。

(性的なことや)流行に関して置いていかれたり、疑問をもったりした主人公が洗脳？されていくところは、何度読んでもぞくぞくさせられる。

（投稿：うさぎ追いし かの山さん）

第 155 回(2016 年)芥川賞
(受賞作：『コンビニ人間』)を
始め、様々な文学賞を受賞して
いる村田 沙耶香さんが描くのは、
日本の未来を予言していると
話題となった衝撃作！！

『スマホを落としただけなのに』　志駕 晃／著　宝島社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　この本が好きな理由は読んでいくにつれ、ミステリーが深くなり、衝撃のラストになるのが面白いからです。
　そして、今の時代で気を付けないといけない事も学ぶことが出来ます。
　（投稿：N.A さん）

『ソードアート・オンライン』　川原 礫／[著]
アスキー・メディアワークス，角川グループパブリッシング(発売)

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
「ソードアート・オンライン」では、フルダイブ仮想現実技術を使ったゲームの中に大勢の人が閉じ込められ、その中の一人、主人公キリトが様々な人と出会い、デスゲーム「SAO」を攻略していく笑いあり、感動ありの物語です！！
（投稿：F.R さん）

『このライトノベルがすごい!』で2012・2013と連覇した本作。
リブートシリーズである『ソードアート・オンライン プログレッシブ』もあります！

『ソードアート・オンライン　1』
『ソードアート・オンライン　2』
『ソードアート・オンライン　3』
『ソードアート・オンライン　4』
『ソードアート・オンライン　5』
『ソードアート・オンライン　6』
『ソードアート・オンライン　7』
『ソードアート・オンライン　8』
『ソードアート・オンライン　9』
『ソードアート・オンライン　10』
『ソードアート・オンライン　11』
『ソードアート・オンライン　12』
『ソードアート・オンライン　13』
『ソードアート・オンライン　14』
『ソードアート・オンライン　15』
『ソードアート・オンライン　16』
『ソードアート・オンライン　17』
『ソードアート・オンライン　18』
『ソードアート・オンライン　19』
『ソードアート・オンライン　20』
『ソードアート・オンライン　21』
『ソードアート・オンライン　22』
『ソードアート・オンライン　23』
『ソードアート・オンライン　24』
『ソードアート・オンライン　25』

『そして誰もいなくなった』
アガサ・クリスティー／著，清水 俊二／訳　早川書房

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　童謡「１０人インディアン」の歌詞通りに、登場人物が一人ずつ殺されていき、その度に人間関係が変わっていくのが読んでいてとても面白いです。
　（投稿：M．Mさん）

『チョコレートコスモス』　恩田 陸／著　毎日新聞社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　芝居の面白さには果てがなく、一生かけても味わい尽くせない。
　天才の名をほしいままにする女優・響子。
　大学で芝居を始めた無名少女・飛鳥。
　この二人が挑む無理難題ばかりの奇妙なオーディションを特等席から見ているような臨場感がたまらない！
　興奮と感動の演劇ロマン。
　（投稿：O．Mさん）

『デーミアン』　ヘッセ／著，酒寄 進一／訳　光文社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　中学１年生の時、国語の授業で習った「少年の日の思い出」からヘッセの別の作品も読んでみたくて、図書館で最初に触れた本です。
　私はデミアンの暗い所から少しずつ明るい話に向かうのが好きです。
　他にも自己追求や主人公が色々な人物と関わって苦しんでいたり、難しい文章が多いですが、面白いです。
　（投稿：ニャルラトポトフさん）

※「デミアン(デーミアン表記含む)」は、以下の全集等にも収録されています。
　『ヘルマン・ヘッセ全集　10　ヘルマン・ヘッセ／[著]，
　　日本ヘルマン・ヘッセ友の会・研究会／編　臨川書店』
　『ヘッセ全集　６　ヘッセ／著，高橋 健二／訳　新潮社』

『デモナータ』
Darren Shan／作，橋本 恵／訳，田口 智子／絵　小学館

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　作者のダレンの味のある言葉選びによって頭の中で物語が映像として再生されます。
　この体験ができるのはダレン・シャンの物語しかありません。
　ぜひ一度手にとって読んでみてください。
　（投稿：Ａ１さん）

全 10 巻のダーク・ファンタジー！
一味違うファンタジー・ミステリー
『ダレン・シャン』シリーズも
ぜひ、併せて読んでみてください！

『デモナータ　１幕』　『デモナータ　２幕』　『デモナータ　３幕』
『デモナータ　４幕』　『デモナータ　５幕』　『デモナータ　６幕』
『デモナータ　７幕』　『デモナータ　８幕』　『デモナータ　９幕』
『デモナータ　10 幕』

『どうして高校生が数学を学ばなければならないの?』
大竹 真一／編　大阪大学出版会

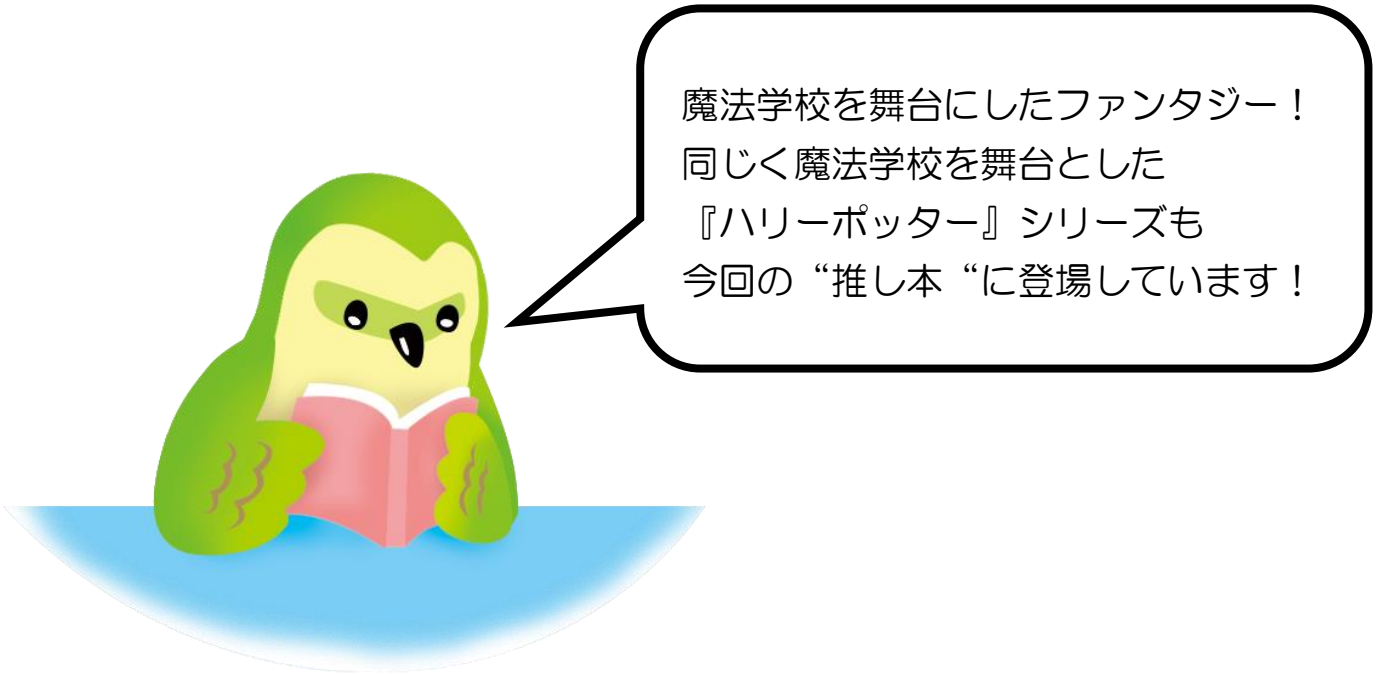
（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　自分は数学が苦手ですが、日々出会う現象やいくつかの疑問や不思議が自然科学や数学で説明できるというのを知って、とても面白かったです。
　ぜひ読んでみてください。
　（投稿：よっすぅーさん）

『「毒」と「薬」の不思議な関係』　齋藤 勝裕／著　シーアンドアール研究所

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　「毒と薬」について、普段聞いたことの無いものから、聞いたことのあるものまで幅広く書かれている。
　今まで知る機会の少ない毒と薬の知識が満載。
　「毒と薬」は紙一重。
　知ることであなたの世界が広がること間違いなし。
　（投稿：推しが尊いさん）

『七つの魔剣が支配する』　宇野 朴人／[著]　KADOKAWA

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　どこかの世界にあるキンバリー魔法学校に、とある目的のために入学した主人公オリバーは、ひょんなことからある５人の生徒と深い縁を結ぶ。
　できるだけ平穏を望むオリバーの切実な思いとは裏腹に、入学式当日から次々とトラブルに巻き込まれて…？
　宇野朴人が書き綴るダークファンタジー小説、ここに開幕!!
　（投稿：M.Y さん）

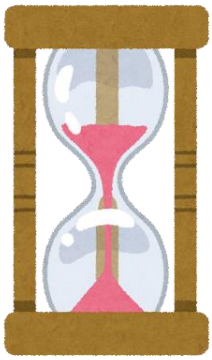



『七つの魔剣が支配する　[1]』
『七つの魔剣が支配する　2』
『七つの魔剣が支配する　3』
『七つの魔剣が支配する　4』
『七つの魔剣が支配する　5』
『七つの魔剣が支配する　6』
『七つの魔剣が支配する　7』

『2 分間ミステリ』　ドナルド・J.ソボル／著，武藤 崇恵／訳　早川書房

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　２分間で読める物語の中に事件の謎を解く手がかりが隠されており、時間のない人でも楽しむことができます。
　読者参加型推理クイズ集です。
　（投稿：曽山登清さん）

福岡県立図書館では、続巻である
『もっと２分間ミステリ』も
所蔵しています！



『日本の給料&職業図鑑』　給料 BANK／著　宝島社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　将来どんな仕事に就いているか考えている時にこの本に出合いました。
　この本はイラストやグラフなどで様々な職業が紹介されているので、とてもわかりやすいです。
　ぜひ皆さんも読んでみてください。
（投稿：S．Yさん）

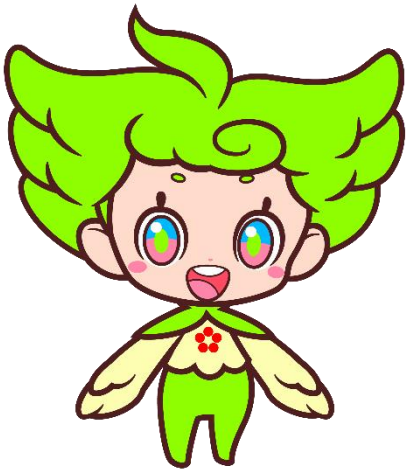
学力進路コーナーに配架している本シリーズ！
福岡県立図書館では、シリーズ中５冊を所蔵しています！

『日本の給料&職業図鑑』
『日本の給料&職業図鑑 Plus』
『日本の給料&職業図鑑パーフェクトバイブル』
『日本の給料&職業図鑑』決定版
『将来が見えてくる!日本の給料&職業図鑑 Special』

『人魚の眠る家』　東野 圭吾／著　幻冬舎

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　とても感動する話です。
　それに、家族愛がとても伝わるので「自分だったら」と考えられるところが楽しいです。
　（投稿：コマさんさん）

## 高校生／ティーンズの“推し著者”ランキング



| 著者名 | 推された書名 | 件数 |
|---|---|---|
| 東野 圭吾 | 人魚の眠る家<br>マスカレード・ホテル<br>夢幻花 | ４ |
| 住野 よる | か「」く「」し「」ご「」と「君の膵臓をたべたい | ３ |
| 知念 実希人 | ムゲンのｉ　上・ムゲンのｉ　下<br>優しい死神の飼い方<br>レゾンデートル | ３ |

『博多豚骨ラーメンズ　4』　木崎 ちあき／[著]　KADOKAWA

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

人口の 3%が殺し屋の街・博多に日本を騒がせる巨悪サイバーテロ組織が上陸した。

有能なハッカーの暗殺をたくらむ組織の存在を知り、調べを進める天才ハッカーの榎田。

天才ハッカーの情報屋を狙い、絶体絶命のサイバーテロが巻き起こる、って感じのストーリーになっています。

（投稿：アイスが食べ終わらない磯野さん）

福岡県出身の著者が描く
博多を舞台にした作品！
短編集やコラボ作品も
併せてどうぞ！

『博多豚骨ラーメンズ』
『博多豚骨ラーメンズ　2』
『博多豚骨ラーメンズ　3』
『博多豚骨ラーメンズ　4』
『博多豚骨ラーメンズ　5』
『博多豚骨ラーメンズ　6』
『博多豚骨ラーメンズ　7』
『博多豚骨ラーメンズ　8』
『博多豚骨ラーメンズ　9』
『博多豚骨ラーメンズ　10』
『博多豚骨ラーメンズ　Extra Games』
『デュラララ!!×博多豚骨ラーメンズ』　成田 良悟／原作・監修，木崎 ちあき／[著]　KADOKAWA

『化物語　上』　西尾 維新／著　講談社
『化物語　下』　西尾 維新／著　講談社

（古い資料のため、カバーがありません）

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

高校三年生の阿良木暦は、春休みに事件にあって人と異なる部分があった。

そんな彼のクラスメイトである戦場ヶ原ひたぎにも誰にも言えない秘密があった。

最初仲が悪かった二人も、時を一緒に過ごすうちに打ち解けていきます。

二人の感情の変化はとてもおもしろかったです。

（投稿：Y.A さん）

＜物語＞シリーズの
記念すべき最初の物語！
福岡県立図書館では
最新作の『死物語』まで、
シリーズ全 28 冊を
所蔵しています！

『はだしのゲン』　中沢 啓治／著　ほるぷ出版

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　広島に原爆が落とされて今年で７６年。
　この本は平凡な人生を送っていた一人の少年「元」がたった一つの原爆により家族を失い、友達を失います。
　しかしそんな中、必死に生き抜こうとする元とその仲間たちのお話が今始まる！
　（投稿：どんぐりさん）

『はだしのゲン　1』
『はだしのゲン　2』
『はだしのゲン　3』
『はだしのゲン　4』
『はだしのゲン　5』
『はだしのゲン　6』
『はだしのゲン　7』
『はだしのゲン　8』
『はだしのゲン　9』
『はだしのゲン　10』

『ハリー・ポッター』シリーズ　J.K.ローリング／作，松岡 佑子／訳　静山社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

世界中で大人気で全ての世代の人に愛さら続いている本であり、1990 年のイギリスが舞台で、魔法使いと人間とが存在する世界のファンタジー小説です。

この 11 巻の中に、生、死、愛、友情、ファンタジー、ミステリー、ホラーのような多くの要素が含まれており、読めばあっという間魔法界という非現実的な世界に引き込まれてしまうような本です。

また、登場人物もとても魅力的で、一人一人に感情移入してしまい一つ一つの展開が楽しく、悲しく、苦しく、辛く感じてしまうような本でもあります。

映画もとても有名で面白くみることができますが、本でストーリーを知るからこそ自分がその空間にいるように感じ、とてもいい経験ができると思います。

是非、読んでみてください！！

（投稿：Ｒさん）

『ハリー・ポッターと賢者の石』
『ハリー・ポッターと秘密の部屋』
『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』
『ハリー・ポッターと炎のゴブレット　上』
『ハリー・ポッターと炎のゴブレット　下』
『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団　上』
『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団　下』
『ハリー・ポッターと謎のプリンス　上』
『ハリー・ポッターと謎のプリンス　下』
『ハリー・ポッターと死の秘宝　上』
『ハリー・ポッターと死の秘宝　下』

『羊と鋼の森』　宮下 奈都／著　文藝春秋

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　ピアノの調律に出会った青年が、調律師として人として成長していく姿を描いた小説です。
　ピアノの音は文字からは聞こえないけれど、この本を読むとどんな音か想像でき、聞こえてくるようで心が温かくなります。
　（投稿：M．Kさん）

『プシュケの涙』　柴村 仁／[著]　講談社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　本の表紙がきれい、変人由良が次に取る行動が気になる「ハイドラの告白」とイッキ読みできる。
　（投稿：N.M さん）
※福岡県立図書館には、『ハイドラの告白』の所蔵はありません。

（古い資料のため、カバーがありません）

『ぼくが電話をかけている場所』
レイモンド・カーヴァー／[著]，村上 春樹／訳　中央公論社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　この短編集を読んでから村上さんの『ノルウェイの森』を読むとより面白いかもしれない。
　なにせ訳しているからか、彼の作風にも少し影響しているように読み取れるからだ。
　短編集なので、結局どうなった、だの、その行為の意味はなんだった、だの、オチはついていないが、そこがまた、想像力をくすぐられているみたいで好み。
　明るいものから暗いものまであり、読み進めていくにつれ、短編集なのに止まれなくなる。
　個人的な話であり、どうでもいいのだが、作中の単位がインチだったりなんだったりと、情景をなんとなく思い浮かべながら読むタイプの私には辛いところもあった。
　そのせいか、しょっぱなの章から自分の脳内情景がおかしくなり、読み終えたあともいい意味でなかなか落ち着けなかった。
　（投稿：うさぎ追いし かの山さん）

推しコメント中の
『ノルウェイの森』は
上下巻とも所蔵しています！

『ノルウェイの森　上』
『ノルウェイの森　下』

『星の王子さま』　サン=テグジュペリ／作，内藤 濯／訳　岩波書店

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
主人公が様々な星を旅する中で、多くの出会いをします。
楽しいお話なので読んでみてください。
（投稿：ヘテロさん）

様々な翻訳者により訳されてきた
世界的名作！
コラムニストの辛酸 なめ子さんが
訳した『「新」訳星の王子さま』も
福岡県立図書館では所蔵しています！

『魔女の宅急便』　角野 栄子／作，林 明子／画　福音館書店

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
映画化もされていて、お子さまでも読みやすい内容になっています。
ぜひ手に取ってみて下さい。
（投稿：りんさん）

『魔女の宅急便　［その 1］』
『魔女の宅急便　その 2』
『魔女の宅急便　その 3』
『魔女の宅急便　その 4』
『魔女の宅急便　その 5』
『魔女の宅急便　その 6』

『マスカレード・ホテル』　東野 圭吾／著　集英社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
都内で不可解な連続殺人事件が起こる。
次の犯行場所は、超一流ホテルコンテシア東京とわかった。
捜査のため、警察の一人と協力することにした。
ページが多いので読み応えあり。
リアルすぎる推理サスペンス。
（投稿：Ａさん）

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
『マスカレード・ホテル』は、東野圭吾の集大成とも言える作品です。
ホテルを使用する人々は様々な仮面を被っていて、仮面を剥がす側の刑事と守る側のホテルの支配人、相容れぬ職業の二人がタッグを組み犯罪を阻止する物語です。
客の人間性が見えていくので、犯人を推測するのが楽しい作品です！
（投稿：苦虫さん）

『三日間の幸福』　三秋 縋／[著]　KADOKAWA

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　お話全体的に少し暗くて切ない雰囲気があるけど、笑えるところもあるし登場人物ふたりの関係が儚くて好き。
　（投稿：MJ さん）

『ムゲンのｉ　上』　知念 実希人／著　双葉社
『ムゲンのｉ　下』　知念 実希人／著　双葉社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　特発性嗜眠症候群（通称：トレス）という難病から患者を救おうとする主人公が勇敢でとても勇気づけられます。
　（投稿：N．Mさん）

『夢幻花』　東野 圭吾／著　PHP 研究所

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　宿命を背負った人間ドラマが交錯する、衝撃のミステリーでかなり面白かったからです。
　（投稿：猫まるくんさん）

『紫の結び　1』　[紫式部／著]，荻原 規子／訳　理論社
『紫の結び　2』　[紫式部／著]，荻原 規子／訳　理論社
『紫の結び　3』　[紫式部／著]，荻原 規子／訳　理論社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　源氏物語の第一帖のお話は、帝に特別に愛された桐壺の更衣という女性に端を発して、物語が進んでいきます。
　亡くなってしまった桐壺に似ているという、父の新しい妃に対する思慕。
　山里で源氏は、新しい妃の藤壺の宮の面影を持つ少女を垣間見ます。
　それが幼い紫の上との出会いでした。
　（投稿：F・C、ちっかーさん）

『メインテーマは殺人』
山田 蘭／訳，アンソニー・ホロヴィッツ／著　東京創元社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
自らの葬儀の手配をしたまさにその日に、資産家の老夫婦が絞殺される。
彼女は自分が殺されると分かっていたのか？
ホロヴィッツ自身をワトソン役に配した、謎解きの魅力全開の七冠制覇「傑作」ミステリー！
（投稿：O．Mさん）

「このミステリーがすごい！」や
「本格ミステリ・ベスト 10」
など、様々なランキングで
1 位を独占しました！

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』
神田 桂一／著，菊池 良／著　宝島社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　私自身、読書はあまりしませんが、この本は面白くて何回も読み直しました。
　この本は著者が文豪というだけでなくみなさんにとって馴染み深い著名人らの主観となっておりカップ焼きそばの作り方を書いています。
　例えば太宰治の「人間失格」を真似しておもしろくカップ焼きそばを作ったりしていてクスッとなりますよ。
　（投稿：レディー・ガガガガガガさん）

『優しい死神の飼い方』　知念 実希人／著　光文社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　読むだけで心が温かくなって、今近くにいる人を大切にしようと思える作品です。
　（投稿：実りさん）

『やさしい日本絵画』　山下 裕二／監修，マキゾウ／マンガ，
朝日新聞出版／編著　東京　朝日新聞出版

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　日本美術史に興味がある人にぜひ読んでほしい一冊です。
　作品、時代の流れと変化、流派、画家の人柄、相関図などが分かりやすくまとめられています。
　漫画もあって、読みやすいので、おすすめです。
　（投稿：まっちゃ.さん）

『妖怪アパートの幽雅な日常』　香月 日輪／[著]　講談社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　夕士という主人公の男の子が妖怪の住むアパートで食事したり会話したりと、普段とすることは変わらないが少し違った風景の見られるお話です。
（投稿：Mさん）

『妖怪アパート』シリーズに
登場する幽霊・るり子さんが
作ったご飯のレシピを
紹介している
『妖怪アパートの幽雅な食卓』
も所蔵しています！

『妖怪アパートの幽雅な日常　1』　『妖怪アパートの幽雅な日常　2』
『妖怪アパートの幽雅な日常　3』　『妖怪アパートの幽雅な日常　4』
『妖怪アパートの幽雅な日常　5』　『妖怪アパートの幽雅な日常　6』
『妖怪アパートの幽雅な日常　7』　『妖怪アパートの幽雅な日常　8』
『妖怪アパートの幽雅な日常　9』　『妖怪アパートの幽雅な日常　10』
『妖怪アパートの幽雅な日常　ラスベガス外伝』
『妖怪アパートの幽雅な食卓』

『落日の剣　上』　山本 史郎／訳，ローズマリ・サトクリフ／著，
山本 泰子／訳　　原書房
『落日の剣　下』　山本 史郎／訳，ローズマリ・サトクリフ／著，
山本 泰子／訳　　原書房

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
　いきなりだが君は、「アーサー」という名前を知っているだろうか。数々の伝説を生み出した者の名前だ。
　この本は、アーサー王の物語をロマンチックな書き方ではなく、勇猛に、時に陰険に、そして冷酷に描かれた物語だ。
　いまやゲーム等に多く登場するアーサー。
　君もその人生に触れてみないか？
（投稿：バーニング・ファイティング・ファイターさん）

推された作品の他にも、
『アーサー王の世界』や
『アーサー王物語』など、
アーサー王について書かれた
作品はたくさんあります！

『羅生門』　芥川 龍之介／作　岩波書店

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
老婆のインパクトが強いから。
学生は一度は目を通したことがあり、馴染み深いと思ったから。
（投稿：ドララ&ガッパーナ神父さん）

『螺鈿迷宮』　海堂 尊／著　角川書店

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
医師である作者が日本の終末期医療について書いており、あるべき理想と現実の間で葛藤する主人公天馬大吉の視点で物語が語られています。
ミステリー要素もたっぷり入っているのでオススメです。
（投稿：H・Hさん）

『流浪の月』　凪良 ゆう／著　東京創元社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

読み終えた後、穏やかな悲しみと幸福に包まれる一冊です。

大人や世間が見ているものが、報道されているものが、本当に全てなのか、正しいのかを考えさせられます。

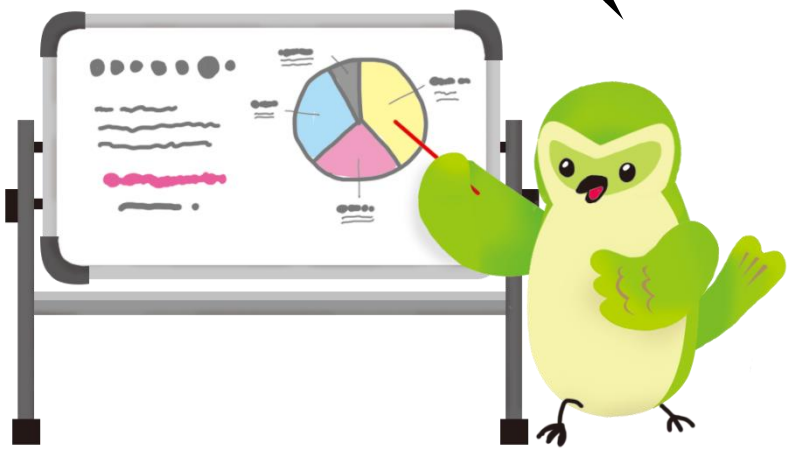
どんでん返しや衝撃的な展開はないけれど、凪良ゆうさんの世界に引き込まれ、読む手が止まりません。

（投稿：理想さん）

『レゾンデートル』　知念 実希人／著　実業之日本社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
外科医である主人公の岬雄貴が末期癌の宣告を受ける所から物語は始まります。
衝撃的な展開やあらゆる事象や人間関係が複雑に描かれています。
知念実希人先生特有の世界観が作られている所がポイントです。
（投稿：織田機美花さん）

現役の医師である著者のデビュー作
『誰がための刃』を改題・改稿した作品です！
『誰がための刃』は、島田 荘司さんが最終選考を行う“ばらのまち福山ミステリー文学新人賞”を受賞しました！(第４回(2011 年))



『レモンタルト』　長野 まゆみ／著　講談社

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

“もう、ずっと前から義兄のことが好きだった“ その一言に魅せられ、思わず手に取った一冊。

死んだ姉の夫と一つ屋根の下で暮らす私。

今もなお左手の薬指に結婚指輪を嵌めているそんな義兄への恋は叶わない。

そうは分かっても、やめることなど毛頭できない。

特殊な環境故、謎が降りかかる私と、そんな私を取り巻く人々と、ご都合展開的なタイミングの良い義兄。

もどかしいのに、切ないのに、何故か何度も読みたくなる一作。

ミステリアスでスウィートな連作短編集。

あなたもぜひ、長野まゆみの世界へ浸ってください。

（投稿：23：23 さん）

著者のサイト『耳猫風信社』では、
雑貨や鉱石等も販売しています。
そんな多彩な著者の作品も
今回推されました！

『私は私のままで生きることにした』
吉川 南／訳，キム スヒョン／著　ワニブックス

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
異国による文化の違いに着目すると良いと思います。
私はこの本を通して考えさせられる点が多くありました。
ありのままの自分を愛して、さらけ出して生きてゆくことの大切さを学びました。
（投稿：おむらいすたべたいさん）

『ワンダー』　R.J.パラシオ／作，中井 はるの／訳　ほるぷ出版

（この本を好きな理由／おすすめポイント）
ある事情から顔を隠している少年が初めて学校生活を送ります。
いくつかの場面を介して最終的にはどの登場人物にも共感できる部分があります。
みんなそれぞれだから、自分らしくするのがいいと改めて教えてくれる一冊です。
（投稿：I・M さん）

せっかく投稿いただいたのですが、
以下の本は残念ながら当館に
所蔵がありません。
県内で所蔵している図書館は
福岡県立図書館ＨＰより探せます。

**『桜のような僕の恋人』　宇山 佳佑／著　集英社**
（この本を好きな理由／おすすめポイント）
突然難病にかかってしまう彼女それを知らずに暮らす彼氏のお話
（投稿：yukihina〆黒餡蜜さん）

**『サラとソロモン』　エスター・ヒックス／著，ジェリー・ヒックス／著，**
**加藤 三代子／訳　ナチュラルスピリット**
（この本を好きな理由／おすすめポイント）
幸せとはなにか、正解とはなにかを考えさせられる物語です。
（投稿：Ｍさん）

**『ヒトラー語録』　ヒトラー／[著]，アイバンホー・ブレダウ／編，**
**小松 光昭／訳　原書房**
（この本を好きな理由／おすすめポイント）
「ヒトラーは口がまわる」と言われている意味が分かる本。
眉をしかめるものもあるので注意が必要。
言いまわし方、一部の考え方は勉強になるかもしれない。
（投稿：旧さん）

『モニタールーム』 山田 悠介／著 角川書店，角川グループパブリッシング(発売)
（この本を好きな理由／おすすめポイント）
※以下、ネタバレを含む可能性がありますので、文字を薄くしています。

このモニタールームという本は、山田悠介さんが作者で、山田悠介さんの、デビュー作は、「リアル鬼ごっこ」です。

ホラーを中心に中高生からの人気が高く、映画化、テレビドラマ化されている作品も多いです。その中で、私の推し本はモニタールームという本です。

私がこの本を読むとなったきっかけは、学級文庫にモニタールームという本が書いたあり、私はその時、山田悠介さんの本が好きでたくさん読んでいました。

その中でも、印象に残っているものは、この「モニタールーム」という本です。

内容は、月収 100 万という高給の仕事を採用された徳井正也。しかも、刑務所地下でモニターを確認するという簡単な仕事だった。しかしモニターで徳井が見たものは恐ろしいものだった。

それは牢獄の中に白髪だらけの女がテレビをじっと見つめている光景だ。そのテレビからは声が聞こえ、画面には４人の子供と、１人の 5.60 代位の優しそうな顔をした男が写っていた。大人の方は白衣のようなものを羽織っていて、ホワイトボードの前に立ち子供たちに、授業をしていました。

そして、牢獄から少し離れた部屋へ案内され、そこで、この女がテレビを見ている姿を監視するという仕事を任されました。

テレビの中の子供たちは、「ミン村」という土地で５人で暮らしていた。そこは半径 3km までが平和な環境だ。そこから外はドクロの看板が立ち、無数の『地雷』が埋められている。「ミン村」のミンとは、地雷という意味です。そこは政府が作った、地雷村です。

そこに、アリサ、ダイチ、ヒカル、ゲンキといい、セイおじさんという人から授業を習うというのが日課でした。４人は固い絆で結ばれていた。

そしてここまで育ててくれたのはセイおじさんでした。４人はセイおじさんのことが大好きだった。

牢獄の女はバラバラ殺人で捕まり、その時お腹には赤ちゃんがいました。女が殺したのはその父親だったのです。そのお腹の子は、４人の中の女の子アリサです。

自分の娘を地雷地帯で生活させ牢獄の中で観察させるという刑罰を女に執行しました。

ある日、セイおじさんが「お前たちの父親と母親は日本というところにいる」といいました。これが始まりでした。

セイおじさんはテレビに昼の渋谷を映し出しました。それは４人が見たことも無い光景でした。

そして、地雷地帯を抜ければ日本へ行ける。そう言いました。

子供たちは、両親の存在、外の世界を知ってしまいました。それから、地雷の除去のやり方などを教えました。

子供たち４人は地雷地帯を抜け、日本に行くことを決めました。

その先には日本などありません。

そこから４人の人間性や、思いやりの心、新しい気持ちなどがえがかれています。

（投稿：せりかさん）

発行　令和３年１０月２７日　福岡県立図書館

〒812-8651
福岡市東区箱崎１－４１－１２
福岡県立図書館　総合サービス室　一般図書班
電　話：０９２－６４１－１１２３
ＦＡＸ：０９２－６４１－１１２７